



Powered by creativity



TDK. The electronic components company.

2014年3月期 第1四半期決算説明会

2013年7月31日
TDK株式会社

◆専務執行役員の担当領域の変更について

専務執行役員 小林 敦夫

◆ 2014年3月期 第1 四半期連結業績概要

執行役員 桃塚 高和

◆ 記録デバイス事業について

専務執行役員 小林 敦夫

専務執行役員の担当領域の 変更について

専務執行役員
小林 敦夫

専務執行役員の担当領域の変更について



社長 上釜健宏



専務 小林敦夫



記録デバイス
(HDDヘッド)



電源



マグネット



アプライド
フィルム



その他製品



専務 植村博之



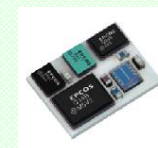
コンデンサ



インダクティブ
デバイス



圧電材料部品
回路保護部品



高周波部品



センサ

2014年3月期 第1四半期連結業績概要

執行役員
桃塚 高和

2014年3月期 第1四半期連結業績概要



(億円)		2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期比	
				増減	増減率(%)
売上高		2,087	2,365	279	13.4
営業利益		92	40	△ 52	△ 56.8
営業利益率		4.4%	1.7%	△3.0pt	-
税引前利益		88	45	△ 43	△ 48.9
当期純利益		45	4	△ 41	△ 91.7
1株当たり利益(円)		35円52銭	2円96銭	-	-
為替	対ドルレート	80円27銭	98円74銭	23.0%の円安	
	対ユーロレート	103円18銭	128円96銭	25.0%の円安	
為替変動による 影響金額		売上高：約400億円の増収 営業利益：約59億円の増益			

◆連結売上高は前年同期比13.4%増、営業利益は56.8%減

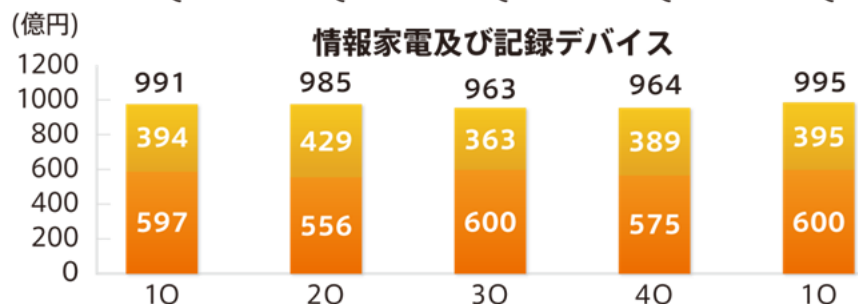
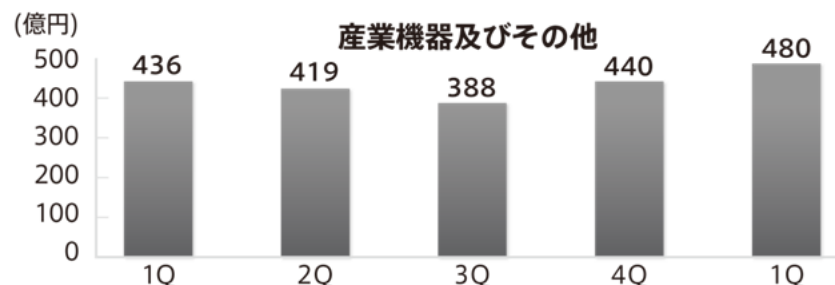
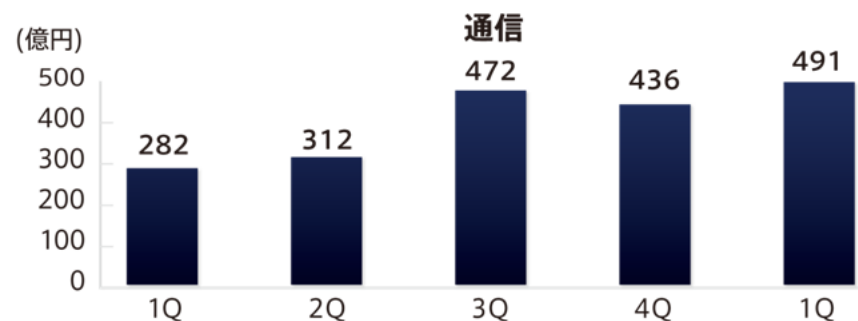
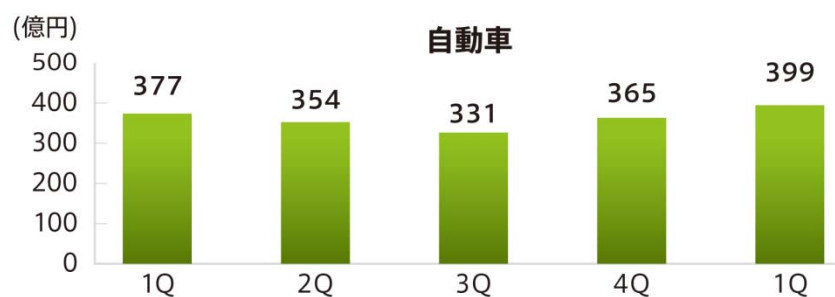
●自動車及び産業機器市場向けの売上は、前年3Qをボトムに増収基調が継続

●受動部品は6四半期ぶりに黒字転換

- ・自動車、産業機器、通信機器市場向け売上の増加(*)
- ・セラミックコンデンサを中心とした構造改革効果及び円安メリット

●磁気応用製品の連結売上高は前年同期比2.3%減、営業利益は68.5%減

- ・HDD用ヘッドの需要減少（前年同期はタイ洪水からの回復期）
- ・マグネットの売上がレアアース価格下落の影響等により大幅減少

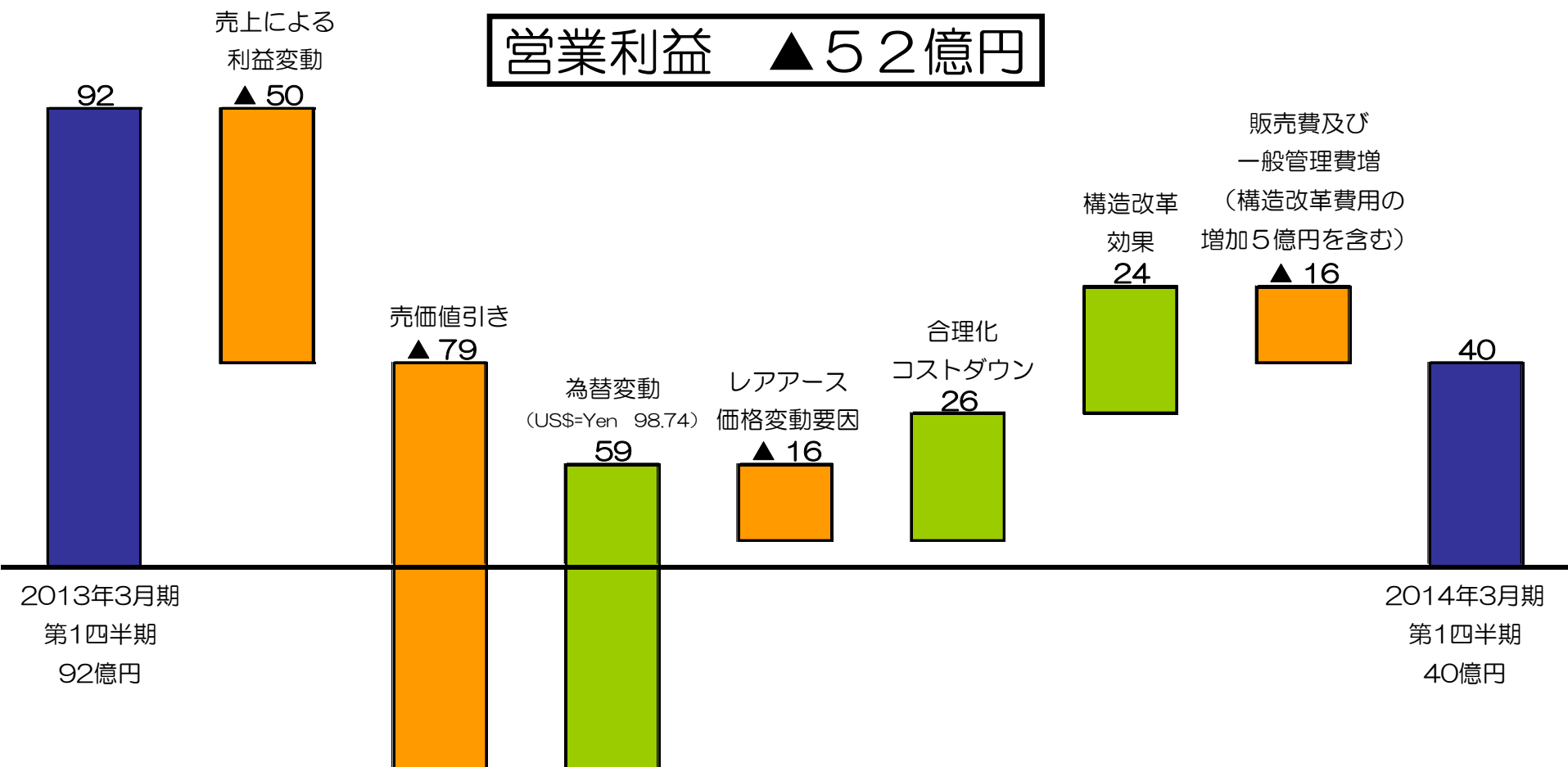


(*)分野別売上高推移についての詳細は18～21ページに掲載しています

営業利益増減分析

(単位：億円)

営業利益 ▲ 52億円



セグメント情報 四半期比較 (前1Q vs. 1Q、 前4Q vs.1Q)



(億円)		2013年3月期 第1四半期 2012年4月～6月 (A)	2013年3月期 第4四半期 2013年1月～3月 (B)	2014年3月期 第1四半期 2013年4月～6月 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	314	307	337	23	7.3	30	9.8
	インダクティブデバイス	282	312	350	68	24.1	38	12.2
	その他受動部品	318	425	483	165	51.9	58	13.6
	受動部品合計	915	1,044	1,170	255	27.9	126	12.1
	記録デバイス	599	576	602	3	0.5	26	4.5
	その他磁気応用製品	283	245	260	△ 23	△ 8.1	15	6.1
	磁気応用製品合計	882	821	862	△ 20	△ 2.3	41	5.0
	フィルム応用製品合計	232	286	286	54	23.3	0	0.0
	その他	58	54	47	△ 11	△ 19.0	△ 7	△ 13.0
	合計	2,087	2,205	2,365	278	13.3	160	7.3
営業利益	受動部品	△ 29	△ 39	28	57	-	67	-
	磁気応用製品	146	18	46	△ 100	△ 68.5	28	155.6
	フィルム応用製品	21	17	16	△ 5	△ 23.8	△ 1	△ 5.9
	その他	△ 4	△ 3	△ 8	△ 4	-	△ 5	-
	小計	134	△ 8	82	△ 52	△ 38.8	90	-
	全社および消去	△ 42	△ 30	△ 42	0	-	△ 12	-
	合計	92	△ 38	40	△ 52	△ 56.5	78	-
営業利益率		4.4%	-1.7%	1.7%	△ 2.7pt	-	3.4pt	-
為替	対ドルレート	80円27銭	92円20銭	98円74銭				
	対ユーロレート	103円18銭	121円74銭	128円96銭				

財政状態



(億円)	2013年3月末	2013年6月末	増減	(参考) 2012年6月末
総資産	11,696	12,240	544	10,465
負債合計	5,890	6,150	260	5,618
株主資本	5,612	5,887	275	4,707
(うち包括利益)	△ 1,590	△ 1,270	320	△ 2,578
株主資本比率	48.0%	48.1%	+0.1pt	45.0%
現預金・短期投資残高 (*1)	2,235	2,448	213	1,708
有利子負債 (*2)	2,956	3,044	88	2,807
ネットキャッシュ (*3)	△ 721	△ 596	125	△ 1,099

*1:現金及び現金同等物+短期投資

*2:短期借入債務+一年以内返済予定の長期借入債務+長期借入債務

*3:現預金・短期投資残高-有利子負債

(億円)	2013年3月期 第1四半期実績	2014年3月期 第1四半期実績	増減
固定資産の取得	239	144	△ 95
減価償却費	179	207	28

2014年3月期連結業績予想



(億円)	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	8,516	9,300	784	9.2
営業利益	216	300	84	38.9
営業利益率	2.5%	3.2%	0.7pt	-
税引前利益	189	280	91	48.1
当期純利益	12	130	118	983.3
1株当たり利益(円)	9円50銭	103円34銭	-	-

●2014年3月期の連結業績予想は、前回公表値（4月26日）から変更なし

●第2四半期以降の平均為替レート想定
 対米ドル90円（前回想定から変更なし）
 対ユーロ118円（前回想定から変更なし）

記録デバイス事業について

専務執行役員
小林 敦夫

●HDD市場

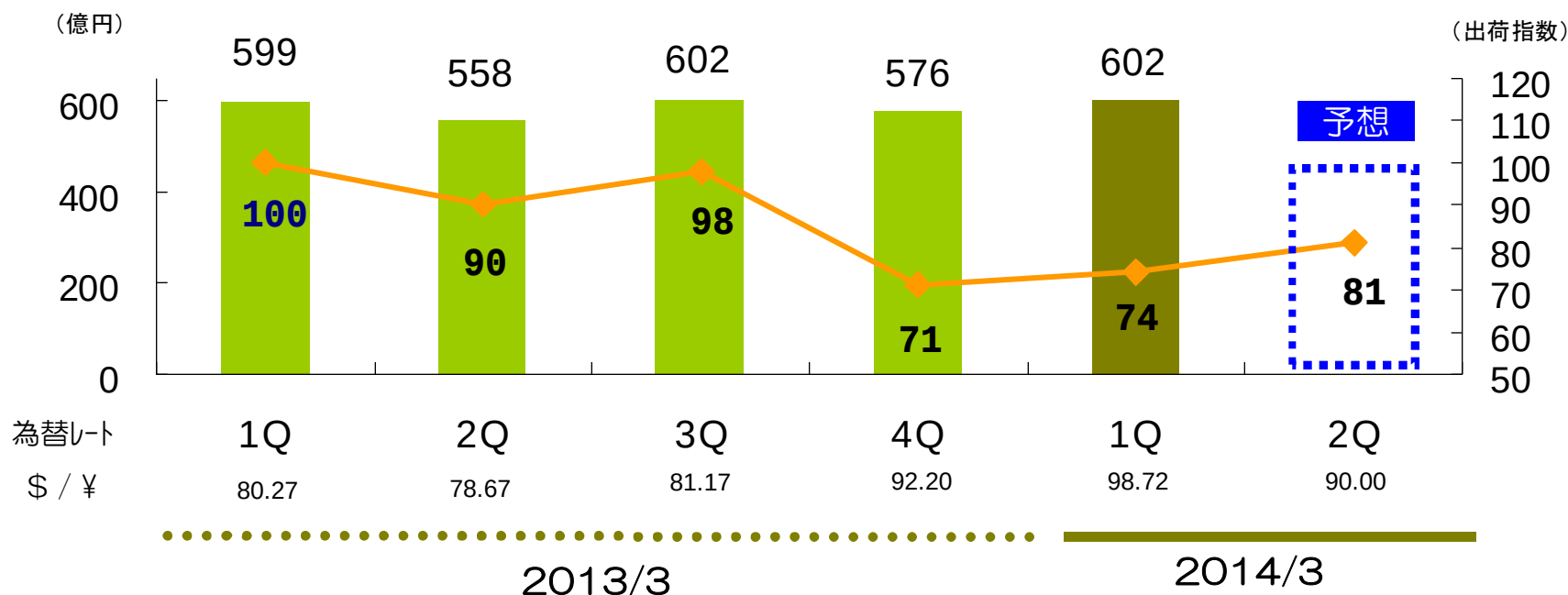
2013年3月期：約5.7億台（当社推定）

2014年3月期：約5.3億台（当社予想、前回から変更なし）

●出荷数量増減

■ 記録デバイス売上高（左軸、HDD用ヘッド及びHDD用サスペンションを含む）

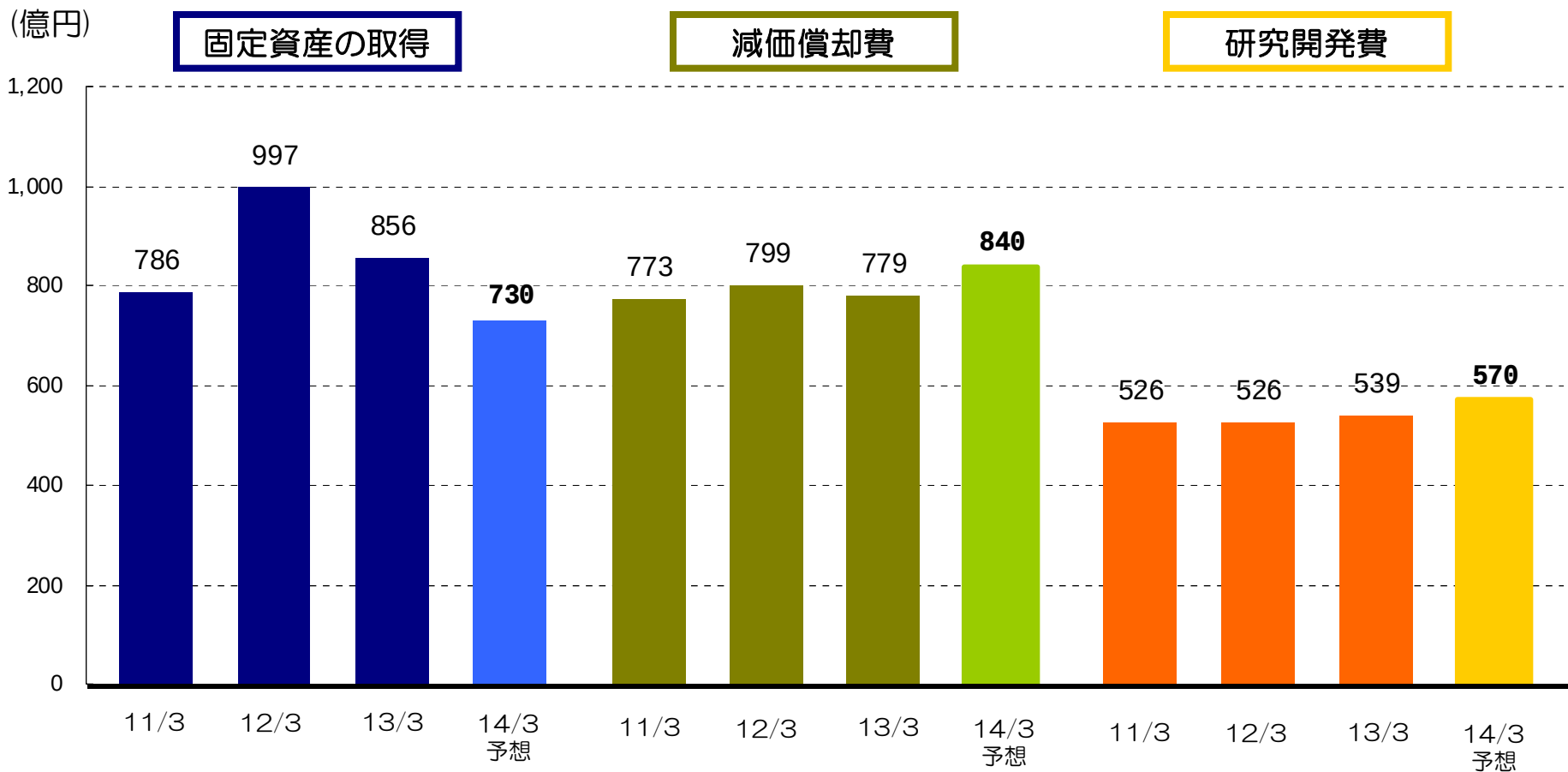
◆ ヘッド（HGA）数量出荷指数（右軸、2013年3月期第1四半期の出荷数量を100とした場合の指数）



補足資料

2014年3月期各種費用予想 - 固定資産の取得、減価償却費、研究開発費-

●前回公表値（4月26日）から変更なし



売上高及び営業利益の四半期推移

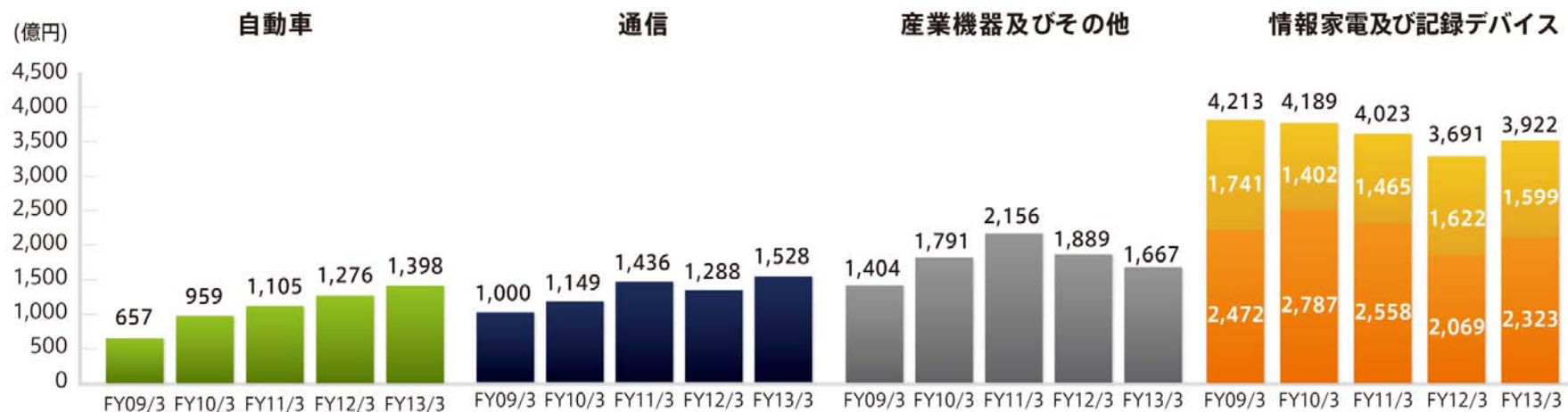
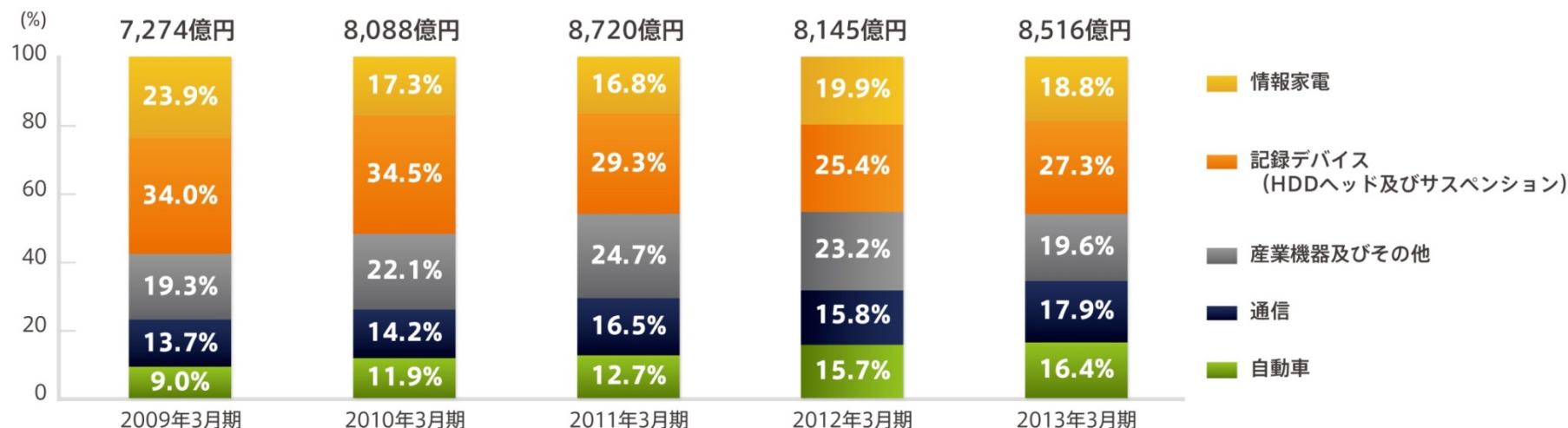


(億円)		2013年3月期					2014年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	コンデンサ	314	292	266	307	1,180	337				
	インダクティブデバイス	282	296	306	312	1,196	350				
	その他受動部品	318	317	360	425	1,421	483				
	受動部品合計	915	906	931	1,044	3,796	1,170				
	記録デバイス	599	558	602	576	2,335	602				
	その他磁気応用製品	283	276	240	245	1,044	260				
	磁気応用製品	882	834	842	821	3,379	862				
	フィルム応用製品	232	277	330	286	1,126	286				
	その他	58	52	50	54	214	47				
	合計	2,087	2,070	2,154	2,205	8,516	2,365				
営業利益	受動部品	△ 29	△ 25	△ 18	△ 39	△ 111	28				
	磁気応用製品	146	132	75	18	371	46				
	フィルム応用製品	21	50	36	17	124	16				
	その他	△ 4	△ 5	△ 6	△ 3	△ 18	△ 8				
	小計	134	152	88	△ 8	367	82				
	全社および消去	△ 42	△ 41	△ 37	△ 30	△ 150	△ 42				
	合計	92	112	51	△ 38	216	40				
為替	対ドルレート	80.27	78.67	81.17	92.20	83.03	98.74				
	対ユーロレート	103.18	98.28	105.28	121.74	107.05	128.96				

連結キャッシュフロー計算書

(億円)	2013年3月期 第1四半期実績	2014年3月期 第1四半期実績	前年同期からの変化
営業活動による キャッシュフロー	215	228	13億円増加 <増加要因> 減価償却費の増加：29億円 たな卸資産の減少：63億円 <減少要因> 非支配持分控除前純利益の減少：40億円
投資活動による キャッシュフロー	△ 203	△ 160	43億円減少 <増加要因> ・短期投資の取得の増加：56億円 ・固定資産の売却等の減少：26億円 <減少要因> ・固定資産の取得の減少：95億円 ・短期投資の売却及び償還の増加：30億円
フリーキャッシュフロー (FCF)	12	68	約56億円増加
財務活動による キャッシュフロー	44	27	17億円減少 <増加要因> ・長期借入債務による調達額の増加：120億円 <減少要因> ・短期借入債務の減少：168億円
為替変動による影響額	△ 68	100	168億円の増加要因
現金同等物残高	1,657	2,331	約674億円増加

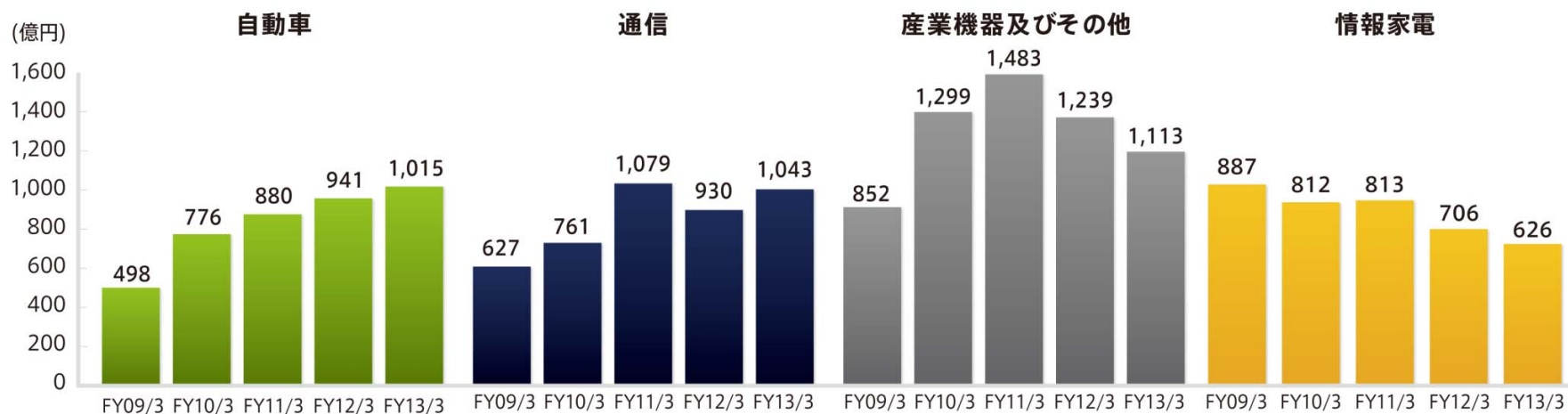
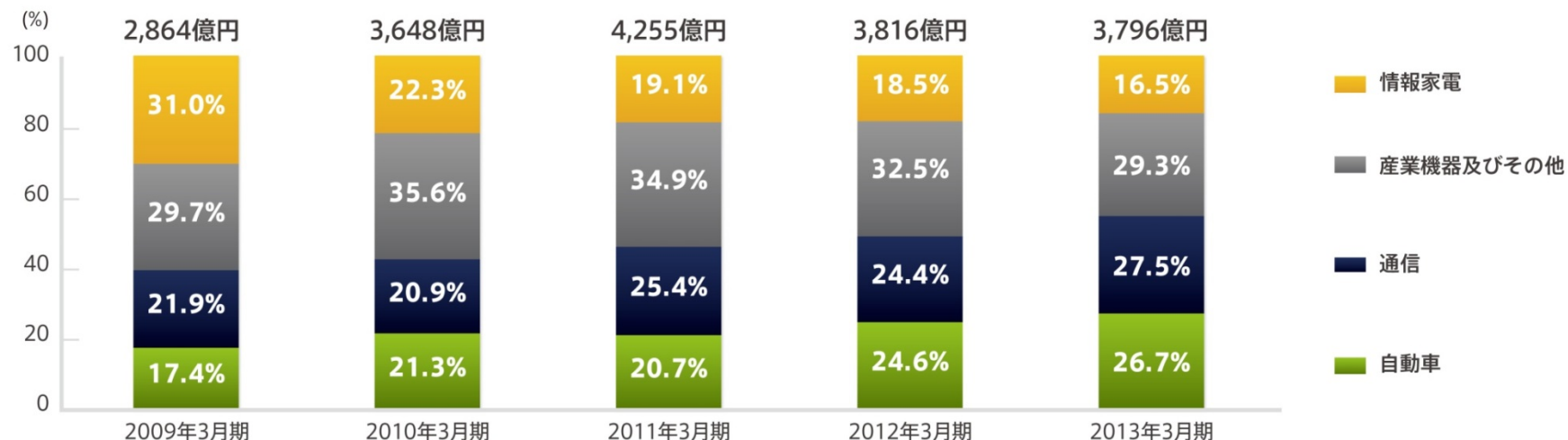
全社 分野別通期売上高推移 (2009年3月期～2013年3月期)



※ 2009年3月期の下期よりエプコス連結

※ 2009/3～2010/3までは非継続事業(ディスプレイ事業)を含む実績、2011/3以降は非継続事業(ディスプレイ事業)除外後の実績値

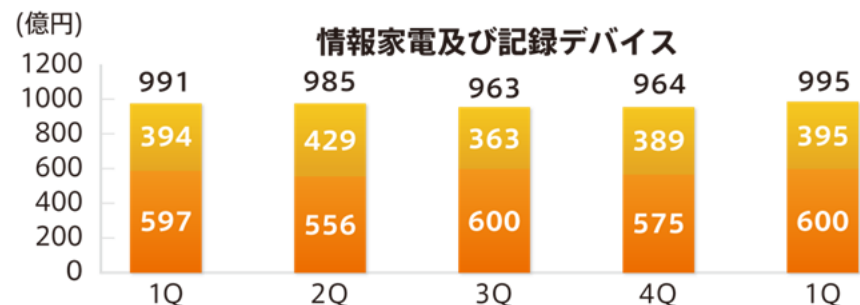
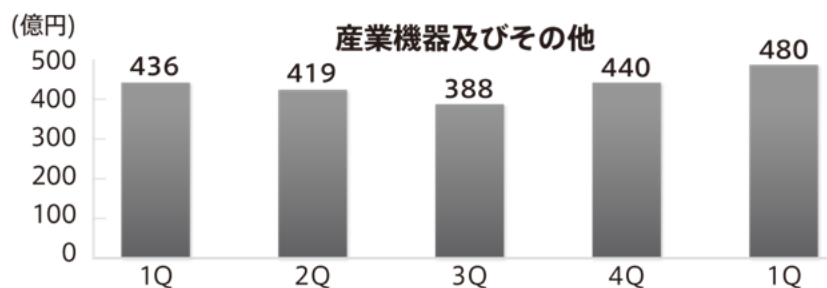
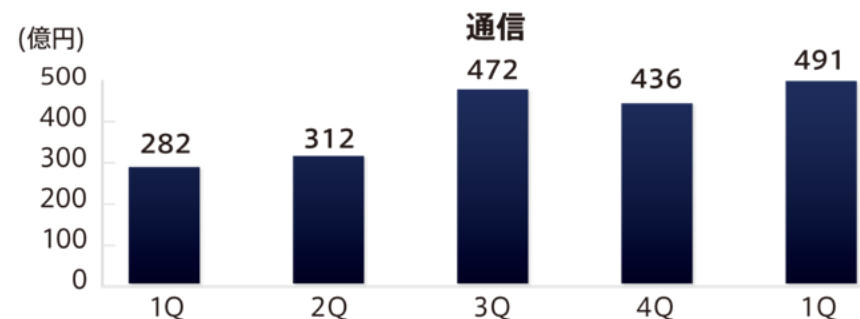
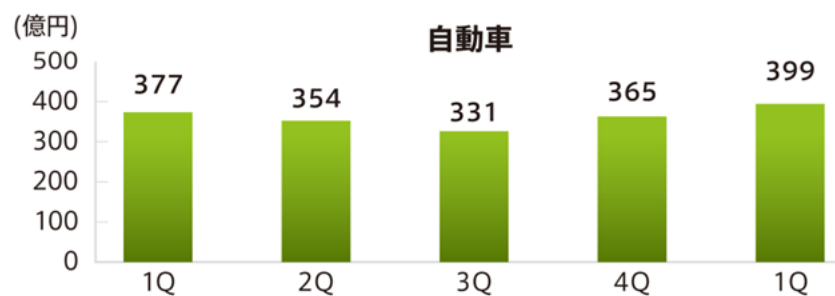
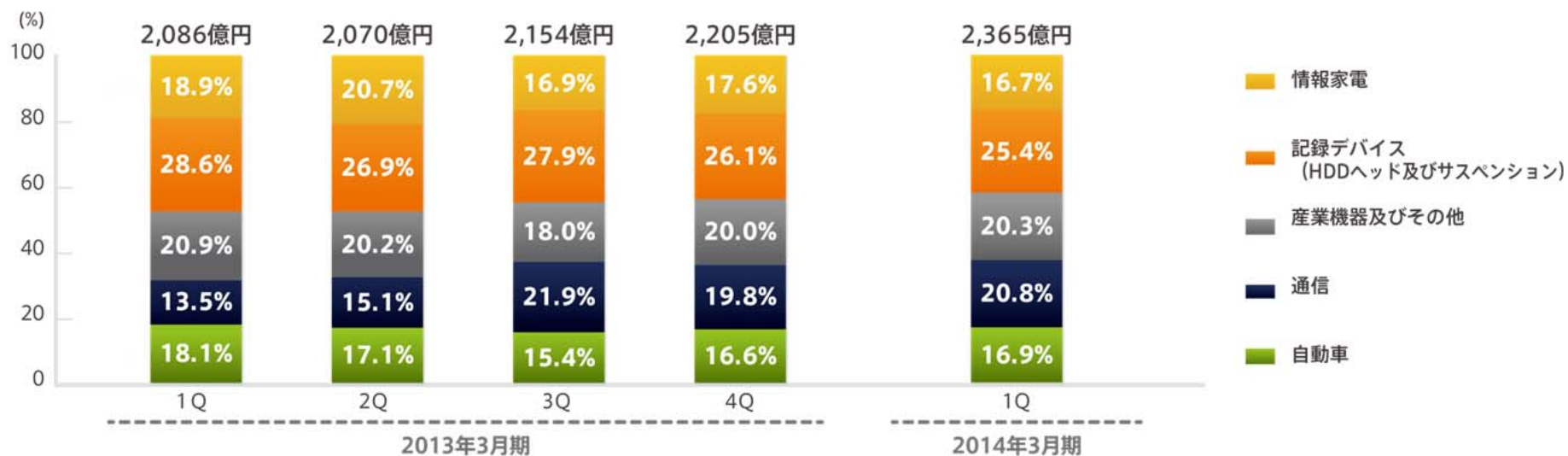
受動部品 分野別通期売上高推移 (2009年3月期～2013年3月期)



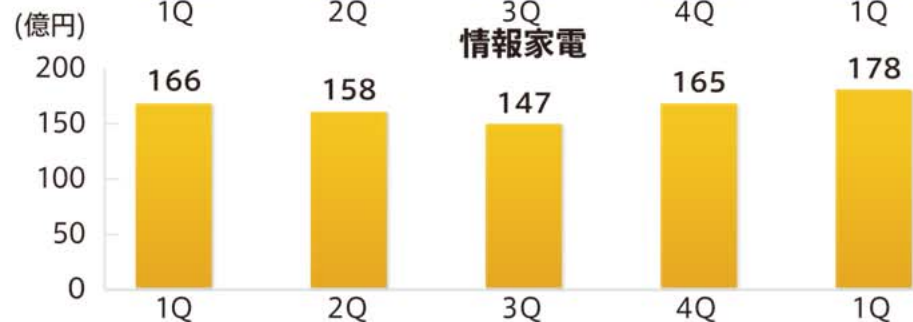
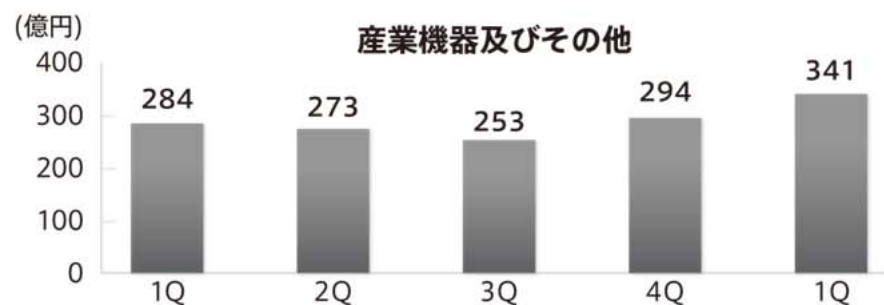
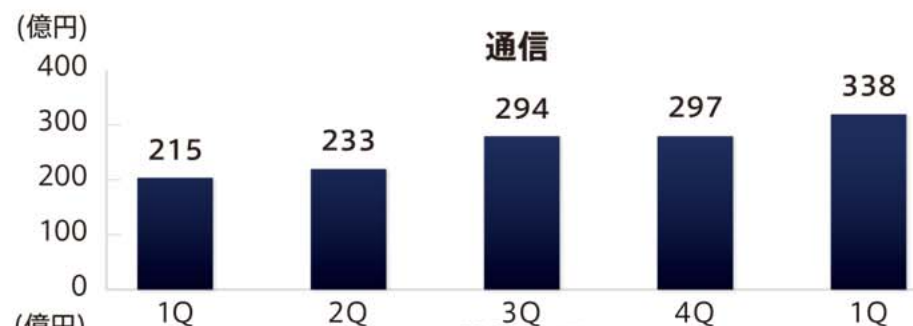
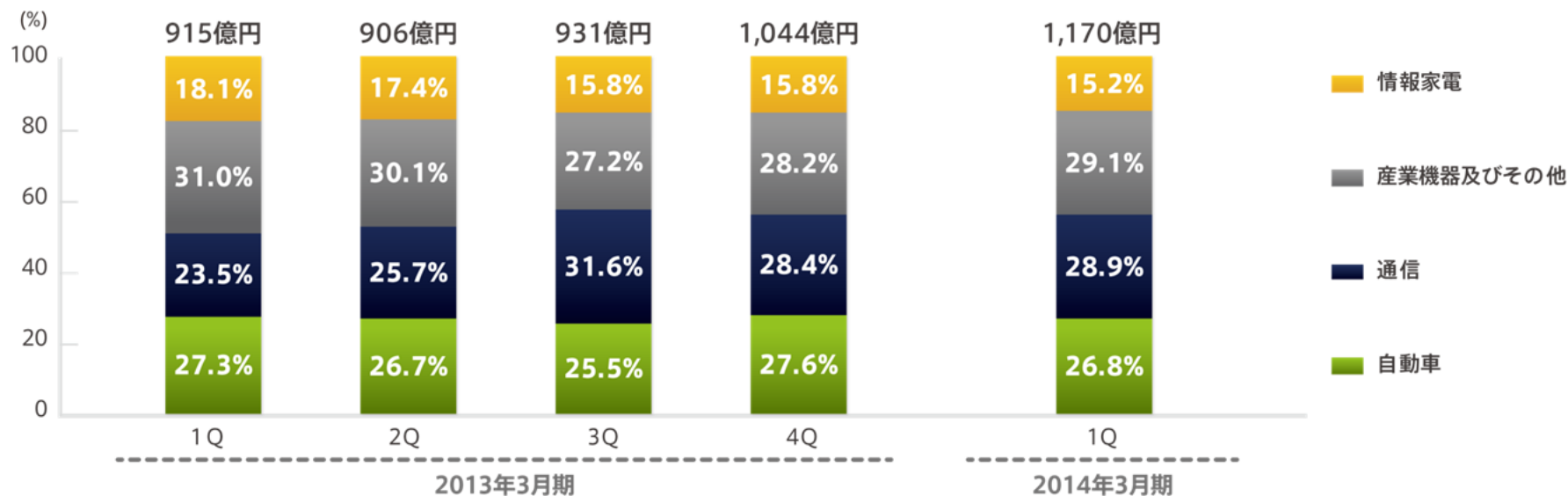
※ 2009年3月期の下期よりエプコス連結

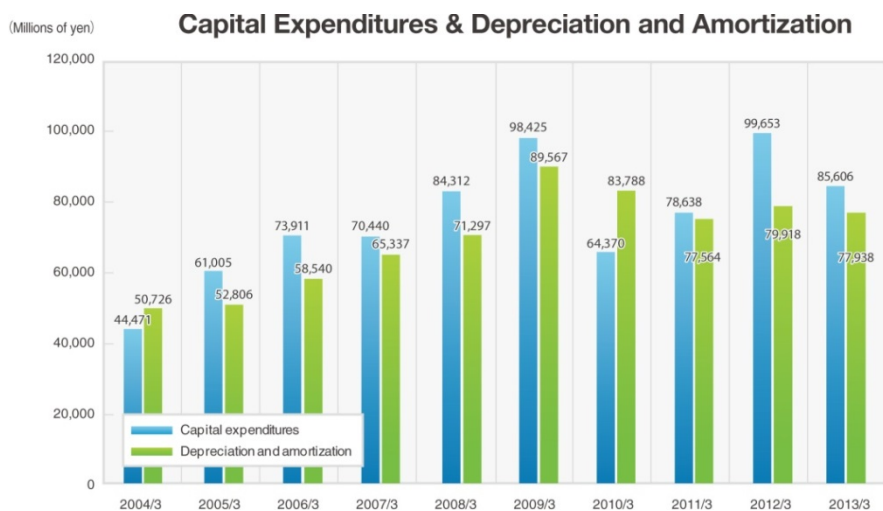
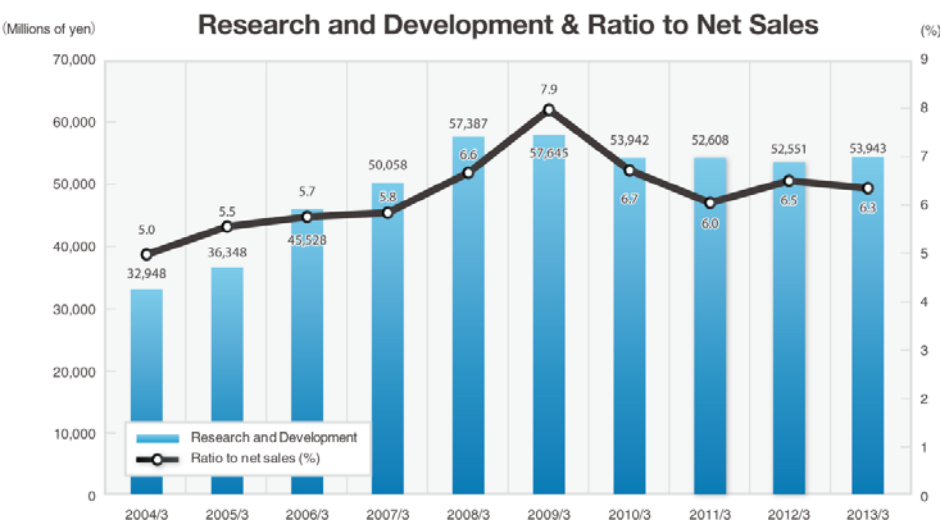
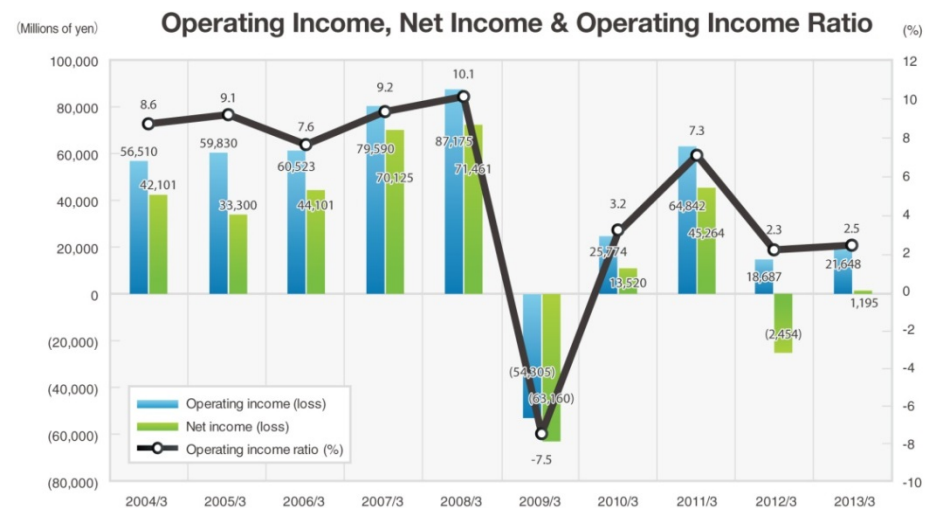
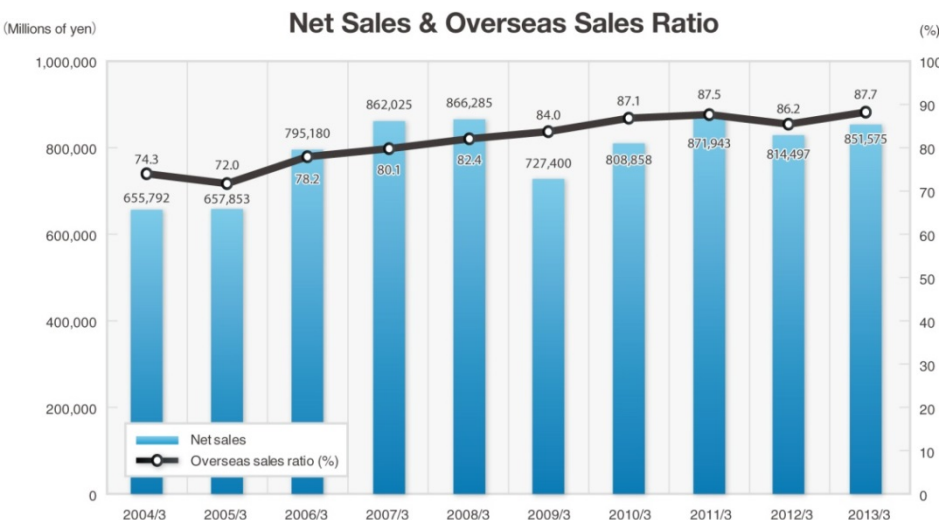
※ 2009/3～2010/3までは非継続事業(ディスプレイ事業)を含む実績、2011/3以降は非継続事業(ディスプレイ事業)除外後の実績値

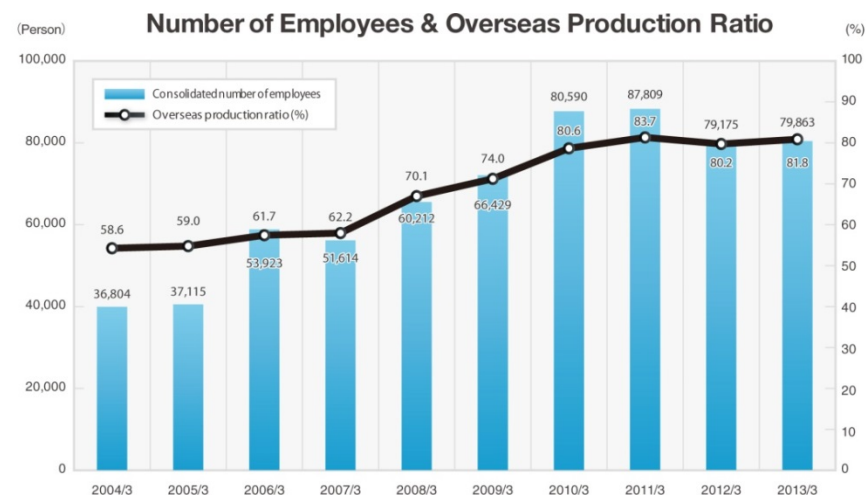
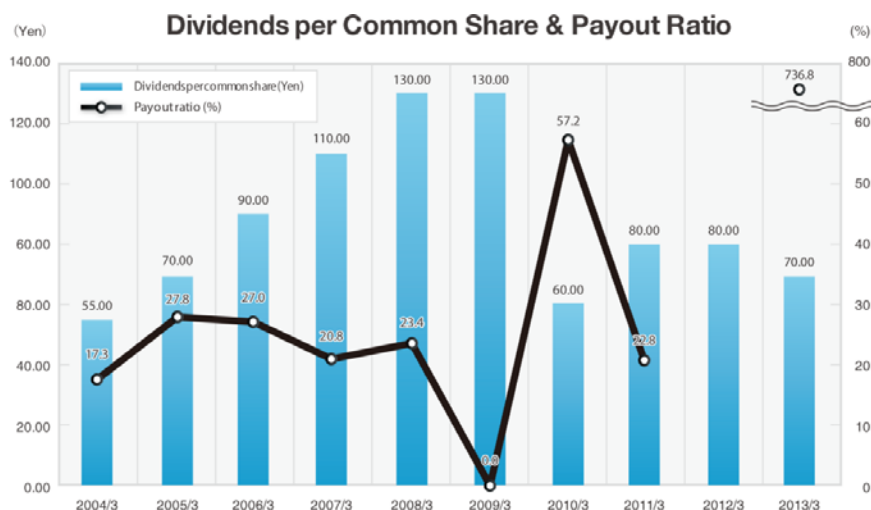
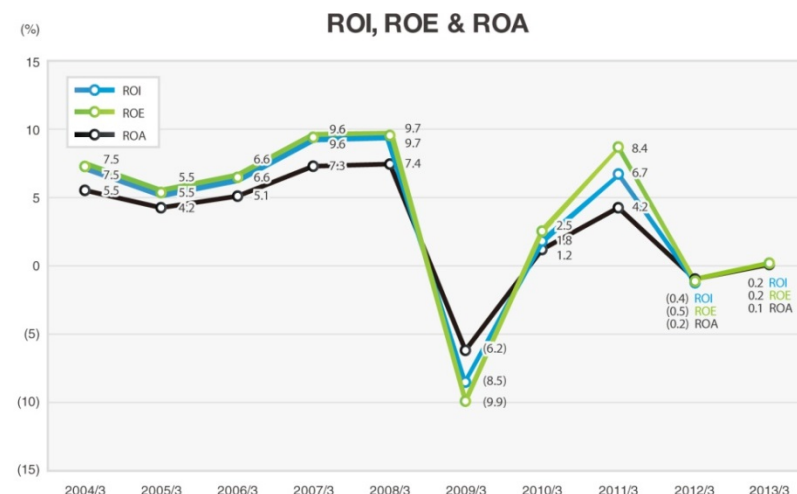
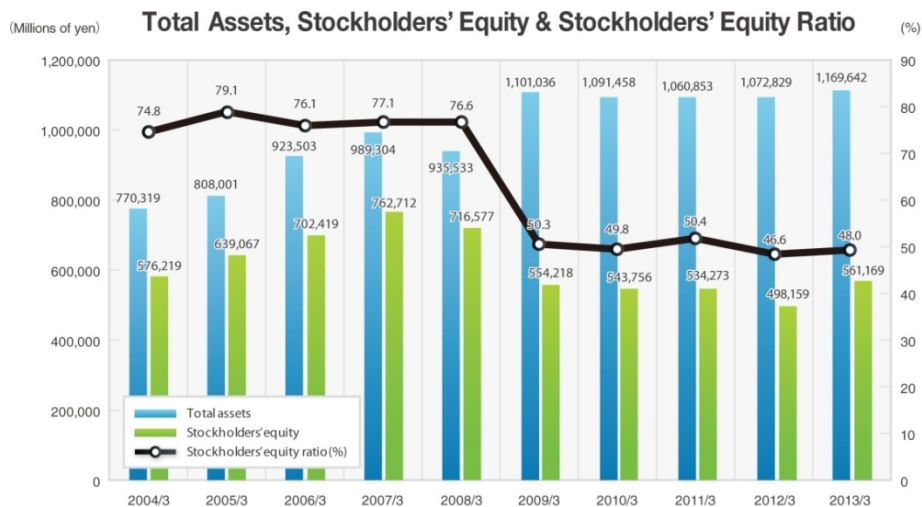
全社 分野別四半期売上高推移 (2013年3月期1Q～2014年3月期1Q)



受動部品 分野別四半期売上高推移 (2013年3月期1Q～2014年3月期1Q)







この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2014/1q_1.htm